

渡辺しおり
永井隆の言葉を美しいソプラノでつづる 祈りの曲集

南天の花

永井隆 心のうた

白薔薇の花より香りたつごとく この身を離れ昇りゆくらむ
平和を願い 愛と忍耐と奉仕に生きた永井隆博士の辞世の句
長い間眠っていたこの美しい曲を甦らせた貴重なアルバム

Shiori Watanabe

Flowers of Nandin

ピアノ・編曲 中山博之
チェロ 磯野正明

Threnos of Nagasaki

南天の花	永井隆 / 山田耕柞
白薔薇の	永井隆 / 山田耕柞
永井隆の短歌による五つの歌	永井隆 / 中山博之
ああ此の涙をいかにせむ	サトウハチロー / 古関裕而
長崎の鐘 ～	サトウハチロー / 古関裕而
新しき朝の	永井隆 / 古関裕而
君死にたまふことなけれ	與謝野晶子 / 吉田隆子
鳥の歌 (チェロ独奏)	カザルス編曲 / カタロニア民謡
交響曲 第3番“悲歌”第2楽章 (ピアノ伴奏版)	グレツキ
ねがい	佐藤信 / 林 光
Stand Alone	小山薫堂 / 久石譲

*チェロ参加曲… 白薔薇の・長崎の鐘・鳥の歌

全 14 曲 収録 ￥2,500 (税込)

2017
8 / 9(水)
CD 発売

お問い合わせ・お取り扱い
パブリックレコード(株) URL <http://www.pbr.co.jp>
カフェ・プレイエル&ギャラリーやましろ TEL 0263-92-8158

故永井隆作詞の歌曲発掘

長崎の原爆で被爆、夫人を失い、命の限り被爆者救済活動を続けた医学者・永井隆（1908～51）が作詞、童謡「赤とんぼ」で知られる作曲家・山田耕柞（1886～1965）が作曲した

ソプラノ歌手の渡辺しおりさん（岡谷市）が、「南天の花」ほか「白薔薇の」「長崎の鐘」「さとうきび畑」「島原の子守歌」などを披露する。

の歳月を経てよみがえった歌を、渡辺さんが初披露する。プレイエルはギャラリーを併設しており、安曇村（現松本市）出身の木版画家・加藤大道と永井の共作「原子野の花」などの作品を展示

コンサート 29、30日に

ソプラノ歌手・渡辺さん

波

し、経営する古畑博子さんが、長崎と松本を結ぶ平和

「南天の花」などを収録したCD発売を記念して

より香りたつごとく」に、山田が作曲献呈した

29日午後6時半、30日午後1時半の2回、松本市

もので、楽譜を渡辺さんが探し求め、長崎市永井

活動、永井と加藤の顕彰に力を注いでいる。

波田の上高地線新島々駅

隆記念館から提供してもらって、ピアノ・編曲の

コンサートは3500円（お茶、菓子付き）。

西の喫茶「カフェプレイエル」で、コンサートが

中山博之さんらの協力を得てCDに収めた。66年

0263・92・8158）へ。

開かれる。

得てCDに収めた。66年

0263・92・8158）へ。

みすず野

長崎の原爆で被爆し、病床に伏す永井隆（当時長崎医大教授）が著した『この子を残して』を読んだ、永井の二人の子どもの慰めになれば、と版画作品を贈ったのが縁で永井と交流、永井の絵を彫つて共作『原子野の花』を出版した版画家に

加藤大道がいる◆大道は安曇村橋場（現松本市）に生まれ、画家を志して上京、中国にも渡ったが、後年帰郷し、木版画に転じた。『原子野の花』は第1、2集と刊行されたものの、永井の命がついていった。松本市波田の喫茶兼ギャラリー「カフェプレイエル」で、その合作版画にふれることができる◆今度は永井隆作詞、山田耕柞作曲「南天の花」などを収めたCDが完成し、29日と30日に同店で記念コンサートが開かれる。CD収録曲の「南天の花」「白薔薇の」「のほか、「さとうきび畑」「島原の子守歌」などを、ソプラノ歌手・渡辺しおりさん（岡谷市）が披露する。「白薔薇の」は、永井の辞世の句に、山田が作曲を献じたもの◆66年の年月を経て初めて蘇った。楽譜を探し求めるなど、渡辺さんの力添えがあつてこそで、喫茶店経営の古畑博子さんは「しおりさんの心の歌です」と言う。

岡谷のソプラノ歌手渡辺さん「南天の花」発売

被爆医師の思い歌う

29、30日 波田で記念コンサート

岡谷市のソプラノ歌手渡辺しおりさんの新作CD「南天の花」永井隆 心のうたの発売を記念するコンサートが29、30日、松本市波田の「カフェプレイエル」で開かれる。永井隆博士(1908～51年)は長崎で被爆した医師。「南天の花」は永井博士の詩に作曲家山田耕作が曲を付けた作品で、渡辺さんは「全国へ永井隆の思いを届けられたい」と意気込んでいる。(松尾尚久)



永井博士と加藤大道の共作版画が飾られた店内で、CDを手にする渡辺さん(右)と古畑さん

同店は、永井博士と松本市安曇の版画家加藤大道(1896～1965年)の共作版画

を常設展示。経営者の渡辺さんは2013年に同店でコンサートの遺族とも交流するにあたり「何

永井博士(永井隆記念館提供)



か店にちなむものを」と考えていたところ、「南天の花」のことを知った。

だが、楽譜は既に絶版。渡辺さんは長崎市永井隆記念館から楽譜の複写を取り寄せ、ピアノスト中山博之さん(東京)に編曲してもらい、コンサートで披露した。渡辺さんはこれをきっかけに永井博士の作品を研究し、今回CD化を決意した。録音は「永井隆の思いが満ちたプレイエルで」と上高地線新島々駅に近い同店で行った。

8月9日に発売するCD全10曲中、5曲が永井博士に関連する作品。「白薔薇(ばら)の」は、永井博士の辞世の句に耕作が曲を付け、永井博士の葬儀で歌われた合唱曲だ。楽譜は未発表で、耕作の自筆譜を所蔵する施設から楽譜の複写を取り寄

「苦勞したが楽しかった」

鉢盛中 タウン情報で職場体験

鉢盛中学校の2年生 181人は19、21日、山形村や朝日村、松本市、塩尻市の59事業所で職場体験学習をした。松本平タウン情報には矢島綾音さんと上條早輝さんが訪れ、学校の

せ、中山さんの編曲でソロ曲としてよみがえらせた。そのほか「永井隆の短歌による五つの歌」は永井博士の短歌5首に中山さんが曲を付けた新曲。永井博士の計報に接し作詞家サトウハチローがしたためた弔辞に作曲家の古関裕而が曲を付けた「ああ此(こ)の涙をいかにせむ」もある。いずれも、今やほとんど表に出てこない作品だ。

味を持つてもいい、その上で、永井のメッセージを自由に受け取ってほしい。古畑さんは「詩と音楽と絵を通して、平和や永井博士の思いを感じてもらえたら」と話している。

CDの購入希望者は渡辺さんにメール(sioris19@gmail.com)かファクス(0266・23・1031)で。しやレイアウトを考え、組版システムを使って紙面を作った。記者に同行して取材や写真撮影にも挑戦した。

活動を紹介する「中学生新聞」を製作した。2人は、2年生が1年生の時から取り組む応援、縦割りで班を作り合唱や清掃などをする活動、1人が連続3日間便器を磨くトイレ清掃について事前に取

る活動、1人が連続3日間便器を磨くトイレ清掃について事前に取

